



久留米つばきの生産地・草野地域を訪問した国際ツバキ会議参加者

農業・農村の持つ多面的機能を発揮するための環境整備に向けて

「久留米つばき」のもとに集う 2010国際ツバキ会議久留米大会を開催

石橋文化センター・久留米つばき園 ほか

豊かな農村環境を活かす



久留米つばき「正義(まさよし)」

また、市民交流事業として開催した「久留米つばきフェア」には、約4万人が来場し、ツバキを始めとする本市の魅力を感じました。

平成22年3月に開催した「2010国際ツバキ会議久留米大会」、「第20回全国椿サミット久留米大会」では、世界16の国と地域から約230名、全国13市町村から約290名をお迎えし、私たちが誇る「久留米つばき」を郷土の魅力として、国内外に強くアピールしました。

水に恵まれ、みどり豊かな久留米市は、全国有数の緑花木の生産地として知られ、特にツバキの苗木生産は日本一です。

ツバキを始めとする
全国最大の植木苗木
の生産地・久留米

世界規模・全国規模の大会をきっかけに

本市の東部に位置する耳納北麓地域は、自然や歴史的、文化的観光資源の多い農村地域です。

この地域は、全国最大規模の植木・苗木の産地で、本市の代表的な花木のツツジ、ツバキのほか、様々な果樹苗木が生産されています。

市では、これらの資源を活かし、それらをうまく連携させ、魅力を高めることにより、多くの来訪者を呼び込み、都市と農村の交流を促進することで経済効果を高め、地域の活性化を推進する「みどりの里づくり」を推進しています。市では、世界規模・全国規模の大会をきっかけとして、「久留米つばき」を始めとする本市の素晴らしい魅力につ

いて情報発信するとともに、緑花産業の振興や地域の振興に繋げていくことを計画しています。

みどりの里づくりの拠点施設久留米つばき園

平成20年3月、草野町にオープンした「久留米つばき園」は、約3ヘクタールの敷地にツバキ約500種約2000本が並ぶ花とみどりの憩いの空間です。

園のある地域は、もともと苗を育てる畑として、明治時代に開墾された地域で、樹齢100年に及ぶツバキの古木をはじめ、「正義(まさよし)」などの貴重な園芸品種や原種ツバキを数多く揃えており、ツバキの魅力を存分に味わうことができます。

また、耳納北麓には、本市の農産物

が一堂に会した農産物直売施設などを有する「道の駅くるめ」(善導寺町)、久留米つづじを始め世界各地のツツジの保存・育成、新品種ツツジの開発を行う「久留米市世界つづじセンター」(山本町)など本市の素晴らしい農村環境を活かした観光施設などがあります。

(上)久留米つばきの魅力について討論した「ツバキフォーラム・パネルディスカッション」。

(中)ツバキ苗の販売など市民にツバキに親しんでもらう多彩なイベントとなった「久留米つばきフェア」。

(下)「久留米つばき園」での野点などのおもてなしが好評だった「耳納北麓草野つばきまつり」。



(上)くるめ市民劇団ほとめき倶楽部による公演「ちっこ版あたしの椿姫2010」、(下)(社)日本バーテンダー協会九州地区本部久留米支部が創作したオリジナルカクテル「久留米恋椿」

市民のみなさんのご支援により 国際ツバキ会議・全国椿サミットを開催

「2010国際ツバキ会議久留米大会」、「第20回全国椿サミット久留米大会」は、多くの市民、企業からの寄付や協賛金によって開催されました。また、実行委員会オリジナル応援グッズとして販売された「記念ピンバッチ」、「久留米つばきキューピー」の売上げの一部は大会の運営資金となりました。さらに多くのボランティアの協力により催しが実施されました。

大会と時期をあわせ開催された、久留米つばきフェア、ツバキフォーラム、石橋文化センターつばきまつり、耳納北麓草野つばき祭り、オープンガーデン、早春の久留米つばき展、まちなか椿めぐりなどの催しのほか、市民劇団の公演など協賛事業の実施などにより、市民みんなで「国際ツバキ会議久留米大会」を盛り上げました。